



(仮称) 恵那南地区中学校地域説明会報告

教育委員会 学校再編対策室 TEL 0573-26-2111

3月に恵那南地区中学校の再編に向けての地域説明会を5会場で開催いたしましたので報告いたします。

○地域説明会参加者

(1) 対象者

恵那南地域の皆様

(2) 実施日

3月8日(水)	明智町	85名参加
3月13日(月)	山岡町	62名参加
3月14日(火)	串原	48名参加
3月15日(水)	岩村町	98名参加
3月16日(木)	上矢作町	73名参加

○主な意見交換

・統合するのだったら、早いうちから子供のケアをしてほしい。統合して1番困るのは子供たち。学んでいくのは子供たち。今統合する子供たちだけではなくて、小学校の頃から顔を覚えて、楽しくやってほしい。

・これから入学する子供たちにとっては、5つの文化が触れ合えるので、お互いに刺激し合えるような交流が増えると思う。活動範囲も増える、友達も増える。地域にとってもプラスになる。プラスの方が大きくなるような学校づくりをしてほしい。

・中学校は義務教育、日本国民みんな同じ。ただ、今の時代は兼務教員ばかり。今度統合して、専門教員になるのは大事だと思う。義務教育としての教育を受けさせてあげたい。その為の1校統合。ぜひ実現していただきたい。

・歌舞伎保存会のスタッフ、役者が人材不足で中学生の力に頼っている。中学生がいないと保存会が成立していないのが現状である。中学校の統合ということもあって、他地域の保存会と人事交流をして力を合わせていきたいと話している。子供は出会いが多いほど成長する。出合いを増やしていけば将来良かったなと思えるようになる。

統合にはデメリットもあるけど、メリットもある。そこは大人が工夫してあげられる。大勢の方が枠を広げて関わっていかないと、地域がやっていけない。

・学校は何のためにあるのか。人間が人間であるための力を学ぶ場所。そうしたものが教育じゃないのか。一番の主人公は子供。瑞浪とは状況が違う。この後は前向きになっていかないと。バス通学で1時間かかるような子もいるが、周りの子がいる。励ましあいながらであればバス通学も可能だと思う。

・1時間かかっても子供が学校に行きたくなる学校をつくってほしい。スクールカウンセラーや支援員の先生以外に、正規の先生の数を増やしてほしい。

・子供が毎日学校や園に通って、友達と遊んで、元気な様子を見ていると、一生懸命生きているなど感じる。お金の話が出ていたが、30億、17億を子供のために使うのであれば、大変ありがたい。30億、40億、あるいは50億かけてでもいい環境を作ってもらいたい。出生率や少子化の問題がいたるところで浮き彫りになっているが、この問題をクリアーするためには、一丸となって、いろんな意見を参考にしながら、学校づくりをしていくことが大切、それこそが大人づくりの基本。

・子供は与えられた環境に馴染むのが世界一上手。中学校1年生から3年間新しい中学校になれば、通学時間の問題はあるが、馴染んでいく力も強いので、さほど問題は起きないと思う。特にケアしなきゃいけないのは、途中から入る子供たち。中学校1年の時は元気だったけど、急に統合した瞬間になかなか馴染めなくて、とすごく心配。その辺は本当にケアしてほしいし、統合する前に色々やるというのもそうだし、統合してからのアフターケアはしっかりしてもらいたいと思う。こう話を聞いていると、分裂してしまいそうで、この雰囲気嫌。皆さん、仲良くしましょう。みんな反対してない、やり方がちょっとわかりにくいっていうのだと思う。もう少し丁寧な説明はやっぱり納得したいから必要かと思う。本当に大変だと思うが、統合に向けて頑張ってもらいたい。

・上矢作は中学校と小学校、こども園、任意でアンケートをとった。

その中でも、1つ非常に気になったのは、来年の入学生が上矢作小学校は1名となる。令和8年開校できなかった場合、その子に同級生ができない。その親御さんは、なんとか子供に同級生を作ってあげてほしいと

いう意見があった。非常にその意見に胸を打たれた。いろんな意見があり進めていかなくてはいけない中で、こういう反対が強い中で、「はい」か「いいえ」で教えてください。というような、非常に厳しい意見が出てしまうような関係になっていること自体が非常に悲しい。なるべく保護者の方や、地域、住民の方に理解をいただけるような努力をもう少ししていただけるようお願いしたい。

・山岡1校では、上矢作、串原の人が厳しい。山岡1校ではなく、上矢作は岩村へ、串原は明智へではダメなのか。それならお金は15億も30億もかからない。

・中学校をなくしてほしくないという気持ちはあるが、子供の数が減っていくのはどうしようもない、統合はやむを得ない。そこで、1校統合がいいのか、それ以外がいいのか。いろいろ資料を集めて考えたが、1校統合は無理があると思う。通学、予算の問題がある。1番気になっているのが、バス通学が全体の80%になる。そこをよく考えてほしい。

・こういう説明会をして決まっていくのか、議会に上程して決まるのか。1校ではなく2校がいいという意見がまだ出ている。地域の中で学校がなくなるのは非常に不安。

・広い地域での中学校の統合は本当に大変。子供たちの負担を考えると、串原や上矢作は通学に時間がかかると聞いている。なぜ統合しなければいけないのか。もっとゆっくり考えていけないのか。

・岩村は文教の町、岩村に学校を残してもらいたい。下田歌子先生は泣いている。一番生徒の多い岩邑中学校をより小さな学校に、これは疑問である。岩邑中学校は、街の真ん中にあり、多くの生徒が歩いて通える。そのため、新築の住宅もできている。岩村は、国道257号線が南北に走っている。地の利の良い、交通の要所である。これを投げ捨てて、国道363号線という、非常に狭くて曲線が多くて、非常に危険な道路を通過して山岡に行くのは不安。あえて言わしていただくと岩村にとっていいことはひとつもない。

・個人的には岩村には残してほしい。1番たくさん子供がいる岩邑中の子が100%バスに乗るのはもったいない。若い人は、統合反対といっている人は少ない。統合やむなしという意見をよく聞いてもらいたい。2校、3校案も考えてほしい。リスペクトが大切という意見があった。しこりを残さない統合をしてもらいたい。

・今は、ある程度、子供の人数が多いが、だんだん少なくなる。これから恵那市で1校になる可能性もある。なぜ、多くのお金をかけて山岡中学校を改築して、通学時間もかなりかかるマイクロバスに乗っていかなければならないのか、不安だらけである。

・隣にいる(一緒に参加している)娘は、40分かかってマイクロバスで通うのは絶対いや、全校が300人になるのは楽しそう、わくわくするという。質問が一つというのはどうなのか。意見を一つ一つ丁寧にそちら側は答えてもらいたい。

・子供たちはこのことについてどう考えているのか。今の4年生は新しい中学校に入る。その年代は自分の考えを言える。当事者はどう考えているのか。主体性がテーマなら、ぜひ聞いてほしい。その子供たちの意見を取り入れてほしい。



この他、多くの意見をいただいております。教育委員会ではQ&Aを作成し、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

[\(仮称\)恵那南地区中学校の再編に関するQ&A/ようこそ恵那市へ | 恵那市公式ウェブサイト\(ena.lg.jp\)](#)

※今後のスケジュール

〈令和5年度〉

(案)恵那南地区統合中学校準備委員会を立ち上げ、開校に向け進めていきます。